

令和3年度
一般会計当初予算 総額

98億4千万円

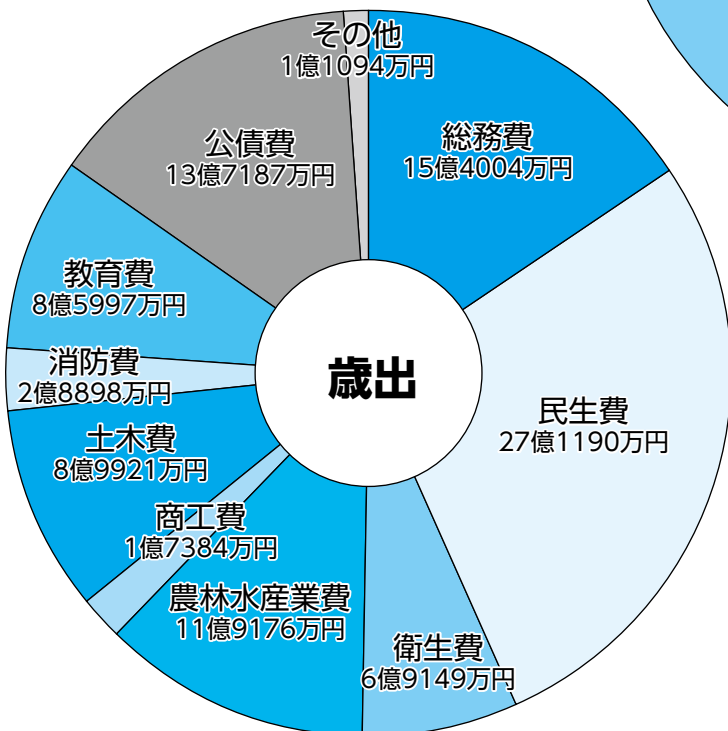
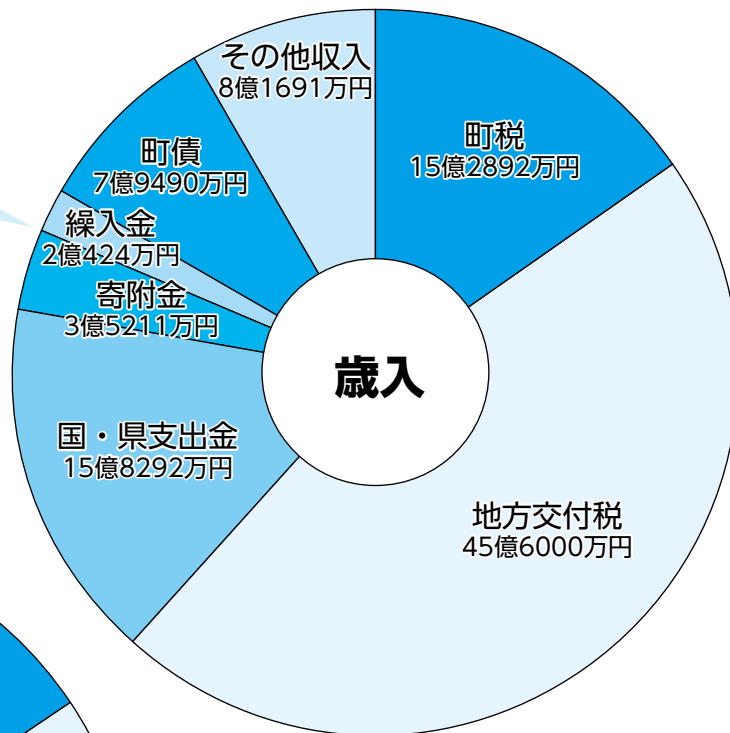
令和3年度の当初予算が3月定例議会で可決されました。4月に町長選挙が行われる予定だったため、政策的経費を原則計上しない骨格予算として予算編成を行いました。

この結果、一般会計の予算総額は、昨年度から10億4千万円減の98億4千万円となりました。

※骨格予算とは、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費や政策的な経費であっても継続的に取り組んでいる事業、早期に予算付けが必要な経費など必要最小限の経費を予算計上したものです。政策的な経費や新規事業費などについては、今後補正予算で肉付けを行います。

(歳入の特徴)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により町税は減収を見込んでいます。
- ・ふるさと納税が好調で、寄附金が増える見込みです。
- ・町債は、元金返済額以下に抑え、町債残高の抑制に努めています。



(歳出の特徴)

- ・衛生費が、中山清掃センター解体事業の完了により前年度比約2億7千万円の減となっています。
- ・農林水産業費が、政策的経費の計上見送りなどにより前年度比約6億6千万円の減となっています。
- ・土木費が、橋梁長寿命化修繕事業の実施などにより前年度比約1億2千万円の増となっています。